

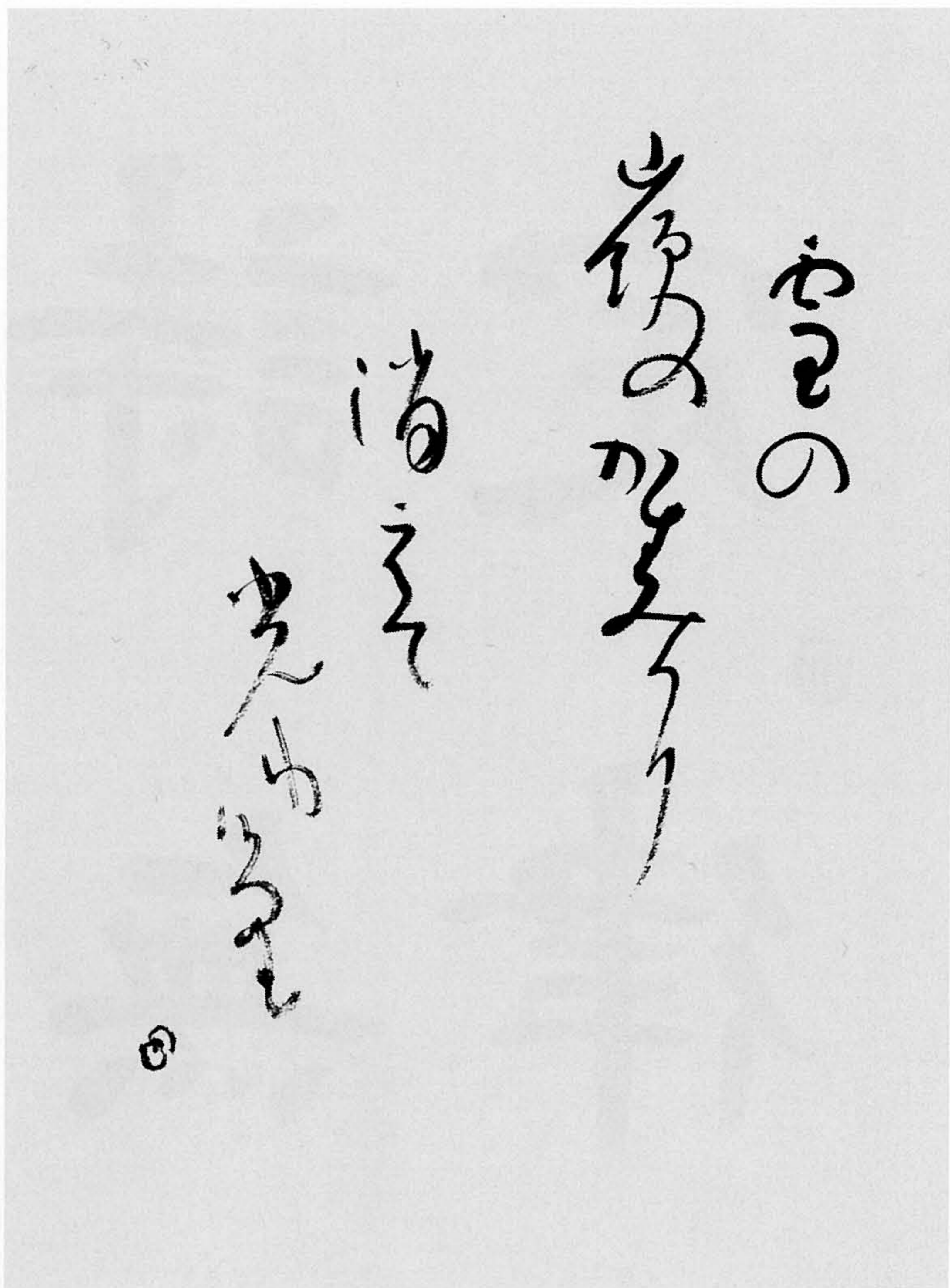
詩定

四

無律

しにていりつなし (詩にはきまつた地位なし)

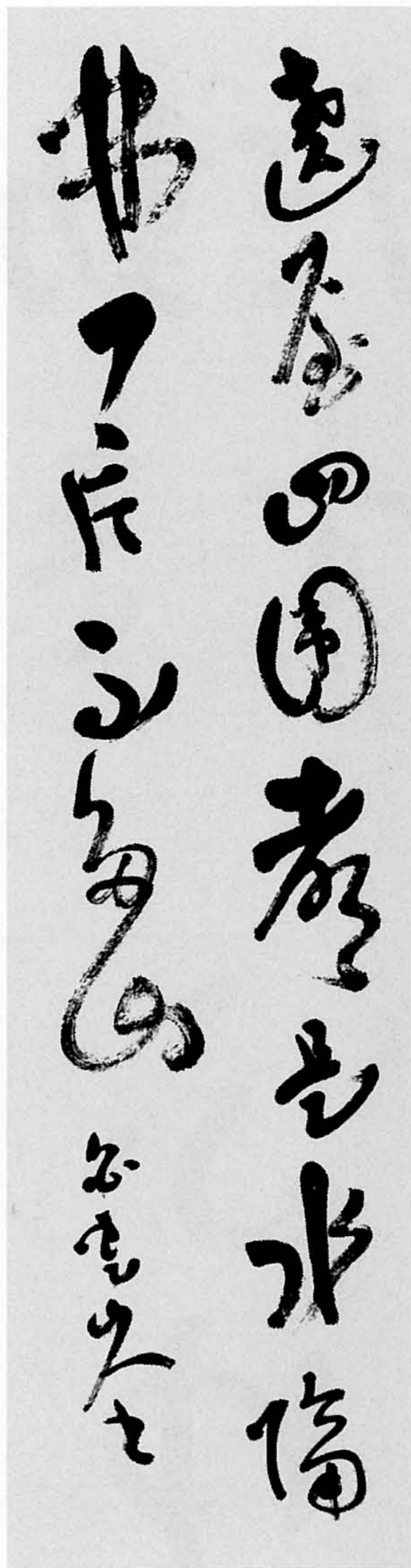
12月末日締切



雪の嶺のかすみに消えて光りけり(花蓑)
(寸)(耳)
(里)

〔一般部〕条幅部参考

景堂書



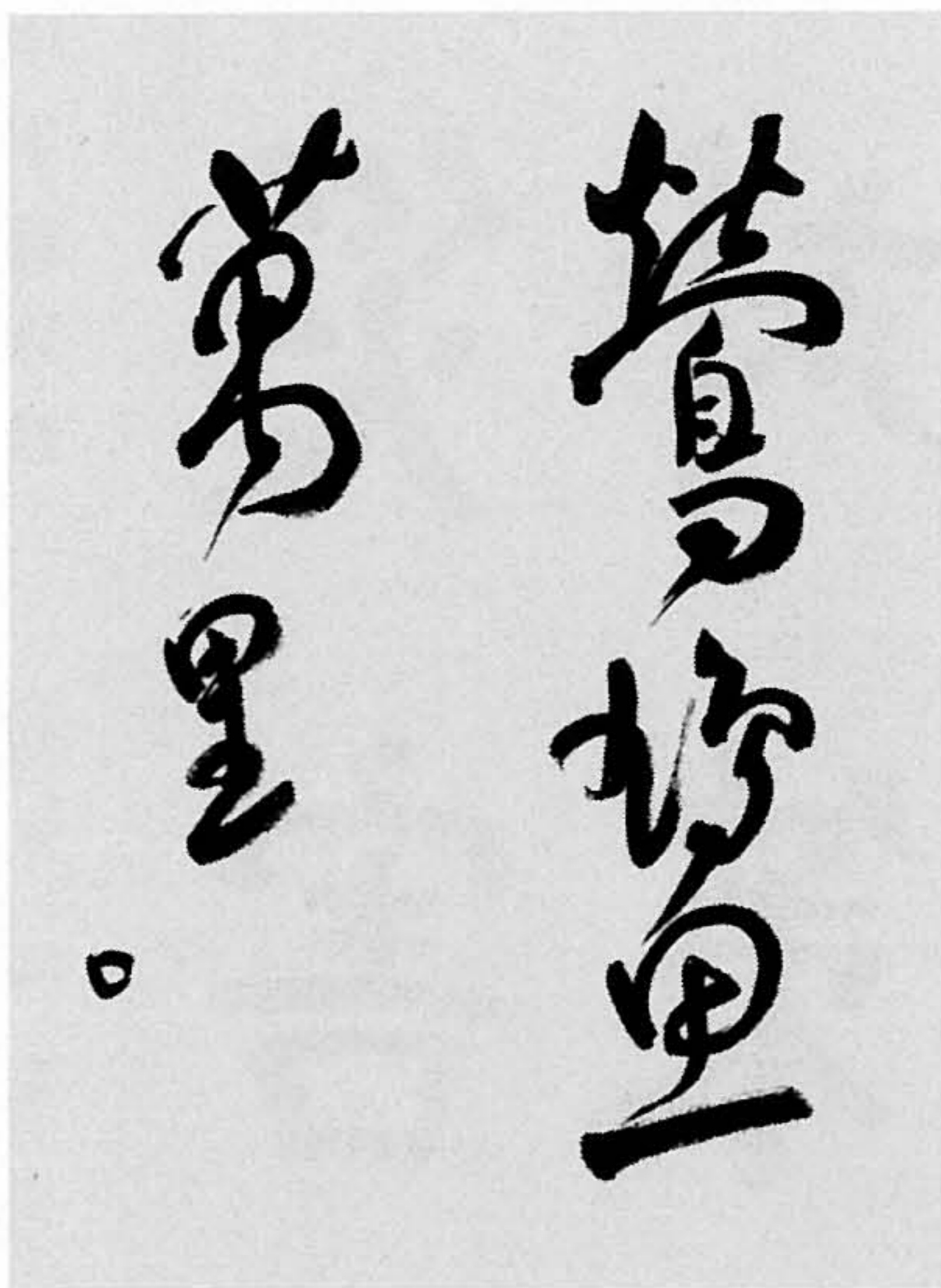
遠く屋四圍都是水。隔林一片不多少山。(はやくをめぐりていつすべてこれみづからおからざるのやま)

半紙参考

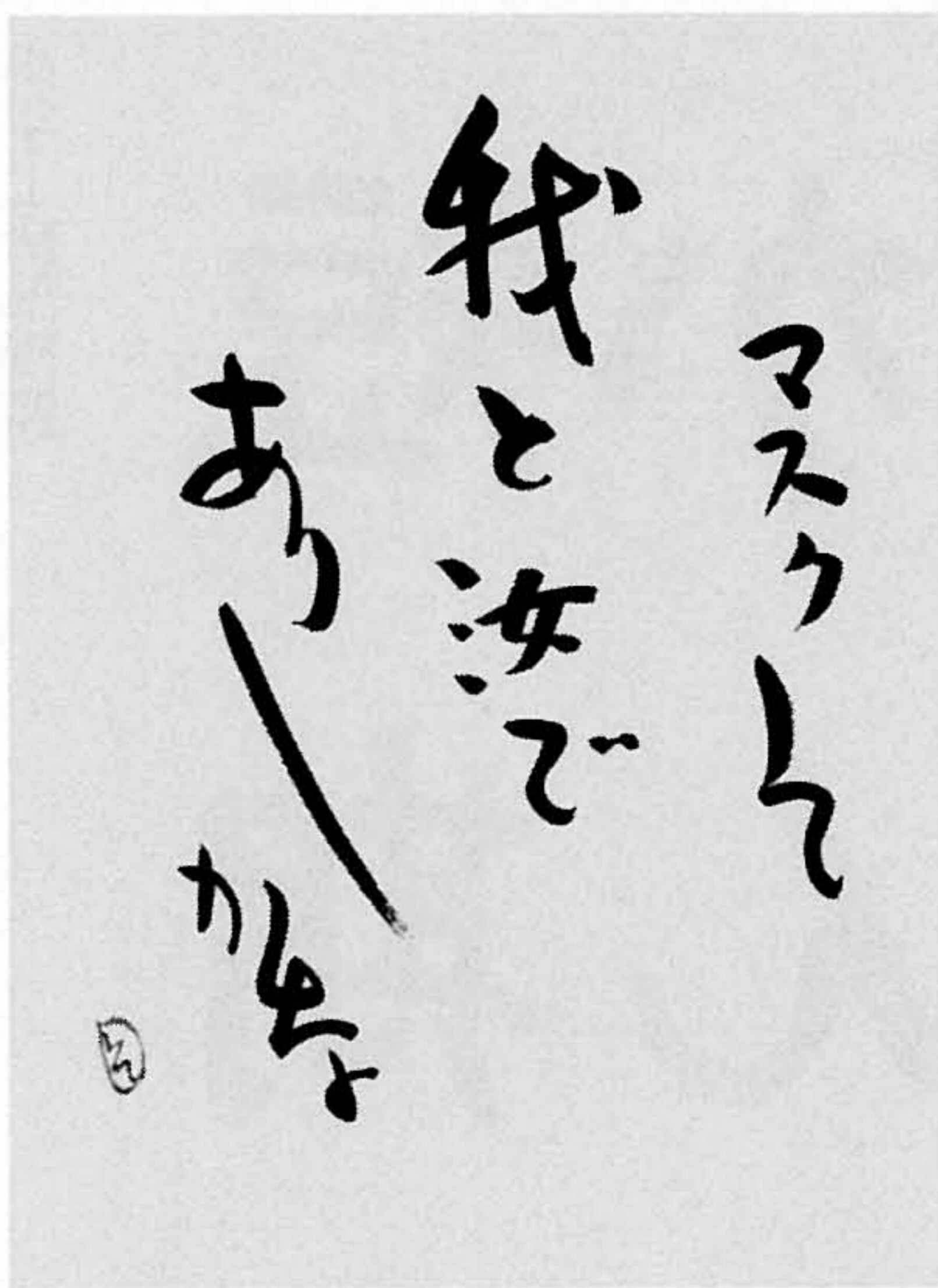
景堂書

新調和体

川端敏江書



鷺島思萬里



マスクして我と汝でありしかな(虚子の句)

〔学生部〕
中学部課題

鈴木暎華書

対災
策害

小学中級部課題

だ動
すき

小学上級部課題

か短
ん期

小学下級部課題

ふ
ゆ

追悼 鈴木景堂氏

外柔内剛 鈴木景堂先生をしのぶ

田 中 鳳 柳

太玄会常任顧問・鈴木景堂先生は10月21日夜半、86歳の天寿を全うされ彼岸に旅立たれました。告別式は同月31日、高野山東京別院で莊嚴の裡に執り行われました。

生前は太玄会の中心的存在として、55年の長きに亘り会の運営発展に尽力され、後継育成に情熱を傾けた生涯であったと思います。先生は津金雀仙、赤羽雲庭という我国歴代の書家の中でも稀有な作家の門に学ばれました。昭和39年第7回日展では特選を受賞され、将来を嘱望され乍ら体制に与しない反骨の精神を貫かれたのか、其後日展を離脱されました。当時のことは余り知り得ませんが、書壇全体に伝統と革新、離合集散等の確執があったのかも知れません。先生の決断はその後、語られることがありませんでしたが、それは作家特有の説と頑固さであったと思います。

先生の作品は常に我が道を行くという体で、正にお人柄の如き外柔内剛の書だと思えます。書家であると同時に詩人でもあった先生は、自詠の書を数多く作品に残しました。そしてその道は生涯を書美探究に捧げた努力の日々であったと思います。更に中国

明清時代の書画にも造詣が深く、書論や蒐集にも意欲的でありました。今後、あの温顔や作品に接することはできません。先生との別れは痛恨の極みです。安らかにお休み下さい。心からご冥福をお祈り申し上げます。

(産経国際書会最高顧問、太玄会会長)

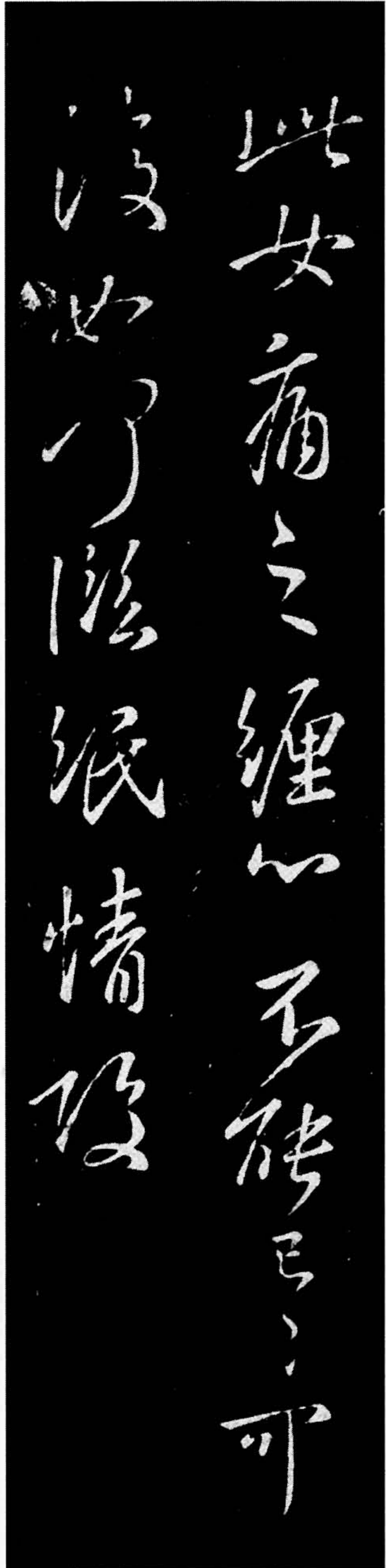
新美術新聞 12月11・21日合併号より転載

御挨拶

書王社理事長 鈴木 映 華

本会々長、故鈴木景堂の通夜・葬儀に際して多くの皆様から鄭重な弔辞・御芳志を賜りました。ここに厚く御礼を申し上げます。今後書王社は、景堂先生の書の精神を受け継ぎ、ゆれる事なく常に鍛錬し続けて前に向って歩んで行きたいと思っています。役員・会員の皆様もどうか精進を心がけて下さい。

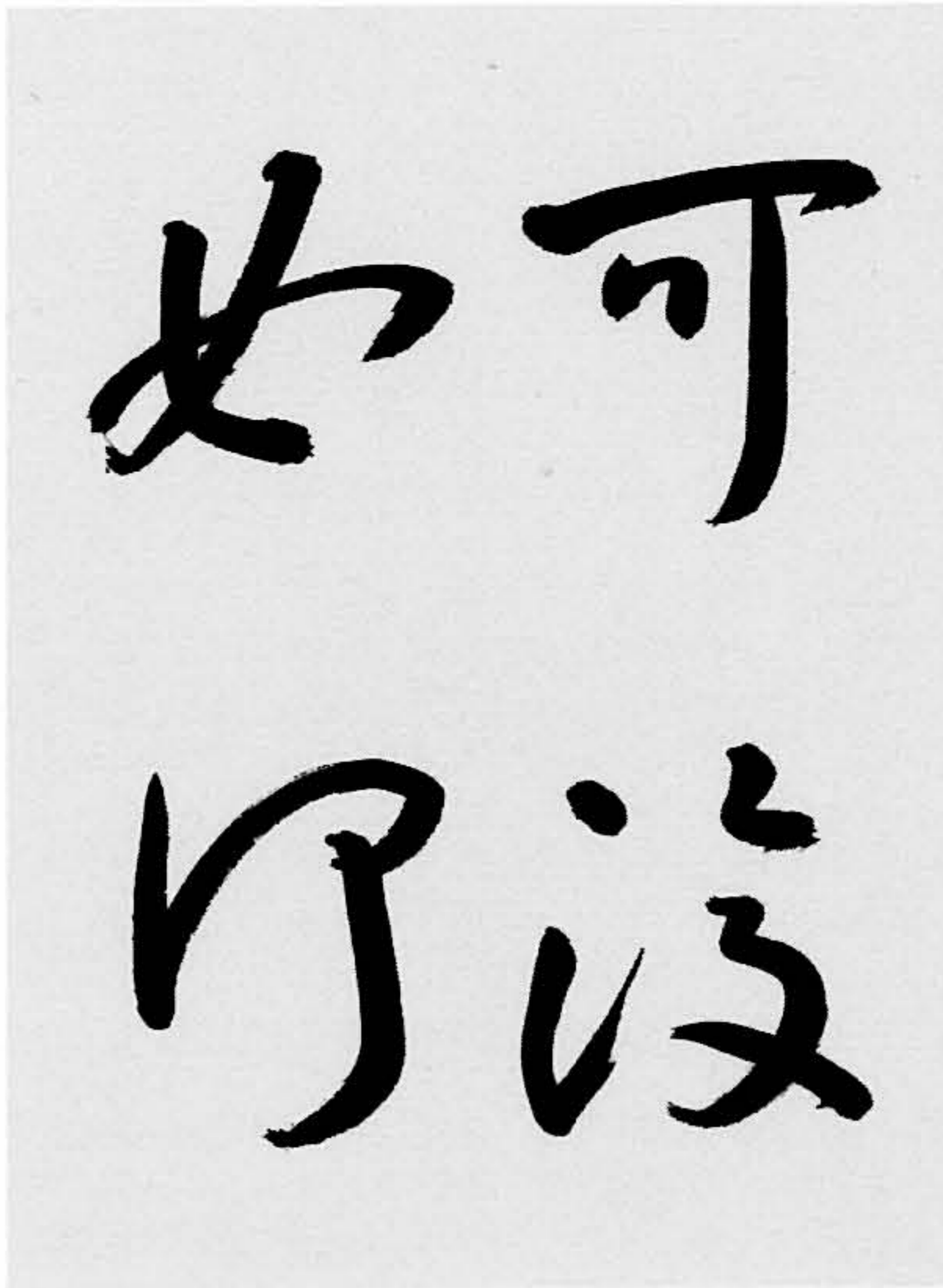




課題参考

映華臨

出品規定



●「可復如何」

（復す可くも如何せん。）
いかん

●（半紙版）に書き無記名にて出品のこと。

●（但し裏面左下に鉛筆で記名、支部名、規定部段級も記入のこと）

●級位を定めず毎月A B C D級の順位をつける。

●規定以外の場所に書いた場合やオモテに記名した場合は没書とする。

●研究出品を期待します。